

2021年3月期
決算説明資料



三井松島ホールディングス
MITSUI MATSUSHIMA HOLDINGS

2021年5月

目次

3P

2021年3月期 決算報告

11P

2022年3月期 連結業績予想

18P

当社グループの事業紹介

生活関連事業について

エネルギー事業について

36P

中期経営計画の進捗状況

38P

参考資料

2021年3月期 決算報告

連結損益計算書

損益計算書

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期	対前期比較 増減額	主な変動要因
売上高	66,596	57,378	▲9,218	エネルギー事業(石炭販売分野)における石炭価格の下落
営業利益 (のれん償却前営業利益) ※	2,741 (3,459)	1,946 (2,613)	▲794 (▲846)	エネルギー事業(石炭生産分野)における石炭価格の下落
経常利益	2,995	3,020	+24	為替差益561百万円 雇用調整助成金319百万円
親会社株主 当期純利益	2,292	▲3,035	▲5,328	・特別利益 負ののれん発生益333百万円 ・特別損失 ※詳細はP.5をご参照ください

※のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額を除外して算出される営業利益であります。

特別損失について

特別損失内訳

	項目	概要	内訳	2021/3期 PL計上額
石炭生産分野	< 豪州 > リデル既存鉱区の 固定資産減損等	<ul style="list-style-type: none"> ● 2021/3期の低迷している石炭市況を踏まえ、将来キャッシュフロー（2022/3期～2024/3期）を慎重に見直した結果、当該鉱区に係る固定資産の全額を減損処理しました。(※1) 	リデル重機等減損損失	2,409百万円
	< インドネシア > GDM(※2)に対する 貸倒引当金計上等	<ul style="list-style-type: none"> ● 2021/3期の低迷している石炭市況を踏まえ、GDMに対する貸付金の回収可能性を検証した結果、全貸付金及び未収利息に対して貸倒引当金を計上しました。 ● 今後GDMに対する新たな出資は行いません。その結果、GDM株式持分20.1%は希釈化し、2022/3期以降は持分法適用会社から外れる見通しです。 	貸倒引当金繰入	596百万円
				株式評価損
衣料品分野	< 花菱縫製 > 連結のれん・ 固定資産の 減損等	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響による店舗休業（2020/4～5月）損失が発生しました。 ● 新型コロナウイルス感染症の拡大によって加速したスーツ市場の縮小を踏まえ、将来キャッシュフローを慎重に見直した結果、花菱縫製(株)に係る連結のれんの全額を減損処理しました。 ● のれん減損に併せて工場設備等について減損処理しました。 ● 市場規模に合った生産体制への縮小によって再編費用が発生しました。 	コロナ店舗休業損失	308百万円
			のれん減損損失	811百万円
			工場設備・店舗内装 減損損失	550百万円
			従業員退職金等費用	286百万円
その他	遊休資産の 減損等	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社グループで保有する遊休資産（主に長崎地区）を時価評価したことに伴い、減損処理しました。 	遊休資産減損損失等	265百万円

※1 本件の減損に伴い、繰延税金資産636百万円を取り崩しております。

※2 GDM = PT Gerbang Daya Mandiri

合 計 5,323百万円

内、キャッシュの流出を伴わない損失 4,732百万円

連結セグメント情報

- エネルギー事業 石炭販売分野、石炭生産分野、再生可能エネルギー分野
- 生活関連事業 飲食用資材分野、衣料品分野、電子部品分野、事務機器分野、ペット分野、住宅関連部材分野（2021年2月～）、介護分野
 - ✓ 2020/3期4Qに(株)エムアンドエムサービスが連結除外となったこと並びに新型コロナウイルス感染症拡大の影響による衣料品分野での販売減少などにより減収
 - ✓ 2021/3期1Qより(株)ケイエムテイ（ペット分野）及び三生電子(株)（電子部品分野）、4Qより(株)システックキョウワ（住宅関連部材分野）が連結加入したことにより増益

売上高

事業名	2020/3期	2021/3期	対前期比較 増減額
エネルギー	41,010	32,985	▲8,025
生活関連	24,215	23,080	▲1,135
内、衣料品分野	4,372	2,379	▲1,992
その他	1,310	1,341	+31
調整額	60	▲29	▲89
合計	66,596	57,378	▲9,218

セグメント利益

(単位：百万円)

事業名	2020/3期	2021/3期	対前期比較 増減額
エネルギー	3,291	1,612	▲1,679
生活関連	802	1,572	+769
内、衣料品分野	50	▲323	▲373
(のれん償却前)	(1,520)	(2,239)	(+718)
その他	58	145	+86
調整額	▲1,410	▲1,383	+27
合計 (のれん償却前)	2,741 (3,459)	1,946 (2,613)	▲794 (▲846)

※「エネルギー」におけるセグメント利益には、持分法投資損益（2020/3期 80百万円、2021/3期 34百万円）が含まれております。

※「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び港湾事業等を含んでおります。

※「調整額」における売上高は、全社資産の賃貸収入が含まれており、セグメント利益には、上記持分法投資損益の控除、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用等が含まれております。

エネルギー事業の内訳

- 石炭販売分野 売上高、利益：石炭価格の下落などにより減収・減益
- 石炭生産分野 売上高、利益：石炭価格の下落などにより減収・減益

売上高

分野名	2020/3期	2021/3期	対前期比較 増減額
石炭販売分野	34,964	28,768	▲6,195
販売数量	365万トン	380万トン	+15万トン
石炭生産分野	13,073	10,453	▲2,620
販売数量	123万トン	130万トン	+7万トン
再生可能 エネルギー分野	308	317	+8
調整額	▲7,336	▲6,554	+782
合計	41,010	32,985	▲8,025

セグメント利益

(単位：百万円)

分野名	2020/3期	2021/3期	対前期比較 増減額
石炭販売分野	127	103	▲24
石炭生産分野 (内、持分法投資損益)	3,031 (80)	1,351 (34)	▲1,679 (▲45)
再生可能 エネルギー分野	132	157	+24
調整額	—	—	—
合計	3,291	1,612	▲1,679

主要指標

		2020/3期 実績	2021/3期 実績	差額
石炭生産分野 (1～12月決算)	販売数量 一般炭	105万トン	115万トン	+10万トン
	販売数量 非微粘結炭	18万トン	16万トン	▲3万トン
	石炭平均価格 一般炭	US\$ 90.90	US\$ 71.77	US\$ ▲19.13
	石炭平均価格 非微粘結炭	US\$ 122.82	US\$ 84.02	US\$ ▲38.80
	為替 A\$/US\$ (平均レート)	US\$ 0.69	US\$ 0.68	豪ドル安 US\$ ▲0.01
	為替 A\$/円 (平均レート)	75.8円	73.7円	円高 ▲2.1円

連結貸借対照表

貸借対照表	2020/3月末		2021/3月末		増減額	主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
流動資産	32,881	52.1	40,777	57.7	+7,896	現金及び預金+5,897、棚卸資産+2,719
固定資産	30,274	47.9	29,840	42.3	▲433	有形固定資産▲2,428、 無形固定資産+534、投資有価証券+1,570
資産合計	63,155	100.0	70,618	100.0	+7,462	
流動負債	14,071	22.3	25,492	36.1	+11,420	短期借入金+5,936、 支払手形及び買掛金+2,753
固定負債	16,082	25.5	14,838	21.0	▲1,243	長期借入金▲1,310
負債合計	30,154	47.7	40,330	57.1	+10,176	
純資産合計	33,001	52.3	30,287	42.9	▲2,713	親会社株主当期純利益▲3,035、 支払配当金▲653、 為替換算調整勘定+493
負債・純資産合計	63,155	100.0	70,618	100.0	+7,462	

(単位：百万円)

その他指標		2020/3月末	2021/3月末	
現金及び預金	(長期預金含)	17,953	23,880	+5,927
借入金		▲17,077	▲22,562	▲5,484
ネット現預金		875	1,318	+442
自己資本比率	(%)	52.3	42.8	
D/Eレシオ	(倍)	0.54	0.78	

連結貸借対照表(2021/3月末)

貸借対照表

流動資産 408億

・現預金	239億
・売上債権	72億
・棚卸資産	69億

流動負債 255億

・仕入債務	64億
・借入金	124億

固定負債 148億

・借入金	102億
・リース	10億

固定資産 298億

・有形固定	134億
(建物・機械等)	(46億)
(土地)	(77億)
(リース)	(11億)
・無形固定	110億
(のれん)	(107億)
・有価証券	33億

純資産 303億

自己資本比率
42.8%

D/Eレシオ
0.78倍

総資産 706億

負債・純資産 706億

連結キャッシュフロー

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期	主な要因
税金等調整前当期純利益	2,959	▲1,967	
減価償却費（のれん償却費含む）	3,010	2,630	
減損損失	392	3,921	
運転資金	▲1,213	2,623	
その他	▲2,862	▲399	
営業活動によるCF	2,287	6,807	
固定資産の増減	▲1,686	▲1,075	・固定資産取得による支出
投資有価証券	▲246	▲830	・投資有価証券取得による支出
連結範囲変更を伴う子会社取得・売却	▲3,848	▲4,165	・ケイエムテイ及び三生電子、システックキョーワ株式取得
その他	▲1,940	3,503	・定期預金（3ヵ月超）の増加
投資活動によるCF	▲7,722	▲2,568	
借入金を増減	5,765	5,095	・ケイエムテイ及び三生電子、システックキョーワ株式取得に伴う借入
配当金の支払	▲641	▲650	
その他	▲310	▲185	
財務活動によるCF	4,813	4,259	
現金及び預金同等物換算差額	▲999	607	
現金及び現金同等物の増減額	▲1,621	9,105	
現金及び現金同等物の期首残高	11,809	10,188	
現金及び現金同等物の期末残高	10,188	19,293	

2022年3月期 連結業績予想

2022年3月期 連結業績予想

- エネルギー事業：2021年度より新たに適用される「収益認識に関する会計基準」により減収（石炭販売分野）
- 生活関連事業：2021年2月よりシステックキョーワが連結加入したことや衣料品分野の黒字化などにより増収増益

連結業績予想

（単位：百万円）

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	対前期比較 増減額
売上高	57,378	39,900	▲17,478
営業利益 (のれん償却前営業利益)	1,946 (2,613)	3,000 (3,656)	+1,054 (+1,043)
経常利益	3,020	2,900	▲120
親会社株主 当期純利益	▲3,035	2,000	+5,035
1株当たり配当額	50円	50円	-

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の売上高となっております。

なお、当該会計基準を適用しない場合の売上高は、65,800百万円であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する予定でございます。

2022年3月期 連結セグメント業績予想

- エネルギー事業：2021年度より新たに適用される「収益認識に関する会計基準」により減収（石炭販売分野）
販売数量の減少により減益（石炭生産分野）
- 生活関連事業：システックキョーワの連結加入（2021年2月～）、衣料品分野の黒字化、電子部品分野の受注増加等により増収増益

売上高

事業名	2021/3期 実績	2022/3期 予想	対前期比較 増減額
エネルギー	32,985	12,100	▲20,885
生活関連	23,080	26,400	+3,320
内、衣料品分野	2,379	2,100	▲279
その他・調整額	1,312	1,400	+88
合計	57,378	39,900	▲17,478

セグメント利益

(単位：百万円)

事業名	2021/3期 実績	2022/3期 予想	対前期比較 増減額
エネルギー	1,612	1,400	▲212
生活関連	1,572	2,800	+1,228
内、衣料品分野	▲323	110	+433
(のれん償却前)	(2,239)	(3,456)	(+1,217)
その他・調整額	▲1,238	▲1,200	+38
合計	1,946	3,000	+1,054
(のれん償却前)	(2,613)	(3,656)	(+1,043)

※「エネルギー」におけるセグメント利益には、持分法投資損益（2021/3期 34百万円、2022/3期 -百万円）が含まれております。

※「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び港湾事業等を含んでおります。

※「調整額」における売上高は、全社資産の賃貸収入が含まれており、セグメント利益には、上記持分法投資損益の控除、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用等が含まれております。

エネルギー事業の業績予想の内訳①

- 石炭販売分野：2021年度より新たに適用される「収益認識に関する会計基準」により減収
- 石炭生産分野：販売数量の減少により減益

売上高

分野名	2021/3期	2022/3期	対前期比較 増減額
石炭販売分野	28,768	※ 230	▲28,538
販売数量	380万トン	366万トン	▲14万トン
石炭生産分野	10,453	11,600	+1,147
販売数量	130万トン	127万トン	▲3万トン
再生可能 エネルギー分野	317	300	▲17
調整額	▲6,554	▲30	+6,524
合計	32,985	12,100	▲20,885

セグメント利益

(単位：百万円)

分野名	2021/3期	2022/3期	対前期比較 増減額
石炭販売分野	103	120	+17
石炭生産分野 (内、持分法投資損益)	1,351 (34)	1,140 (-)	▲211 (▲34)
再生可能 エネルギー分野	157	140	▲17
調整額	-	-	-
合計	1,612	1,400	▲212

※参考 新たに適用される「収益認識に関する会計基準」の影響
 2021年度 石炭販売分野 売上高 (予想) 従来 : 33,790百万円
 新たな会計基準 : 230百万円

エネルギー事業の業績予想の内訳②

主要指標

	2021/3期実績	2022/3期予想	増減額	
石炭生産 (1~12月決算)	販売数量 (一般炭)	115万トン	▲7万トン	
	販売数量 (非微粘結炭)	16万トン	+2万トン	
	石炭平均価格 一般炭	US\$ 71.8	US\$ 85.3	+US\$13.6
	石炭平均価格 非微粘結炭	US\$ 84.0	US\$ 71.9	▲US\$ 12.1
	為替 A\$/US\$ (平均レート)	US\$ 0.68	US\$ 0.78	豪ドル高 US\$ 0.10
	為替 A\$/円 (決算：平均レート)	73.7円	85.0円	円安 11.3円

為替変動による営業利益影響額

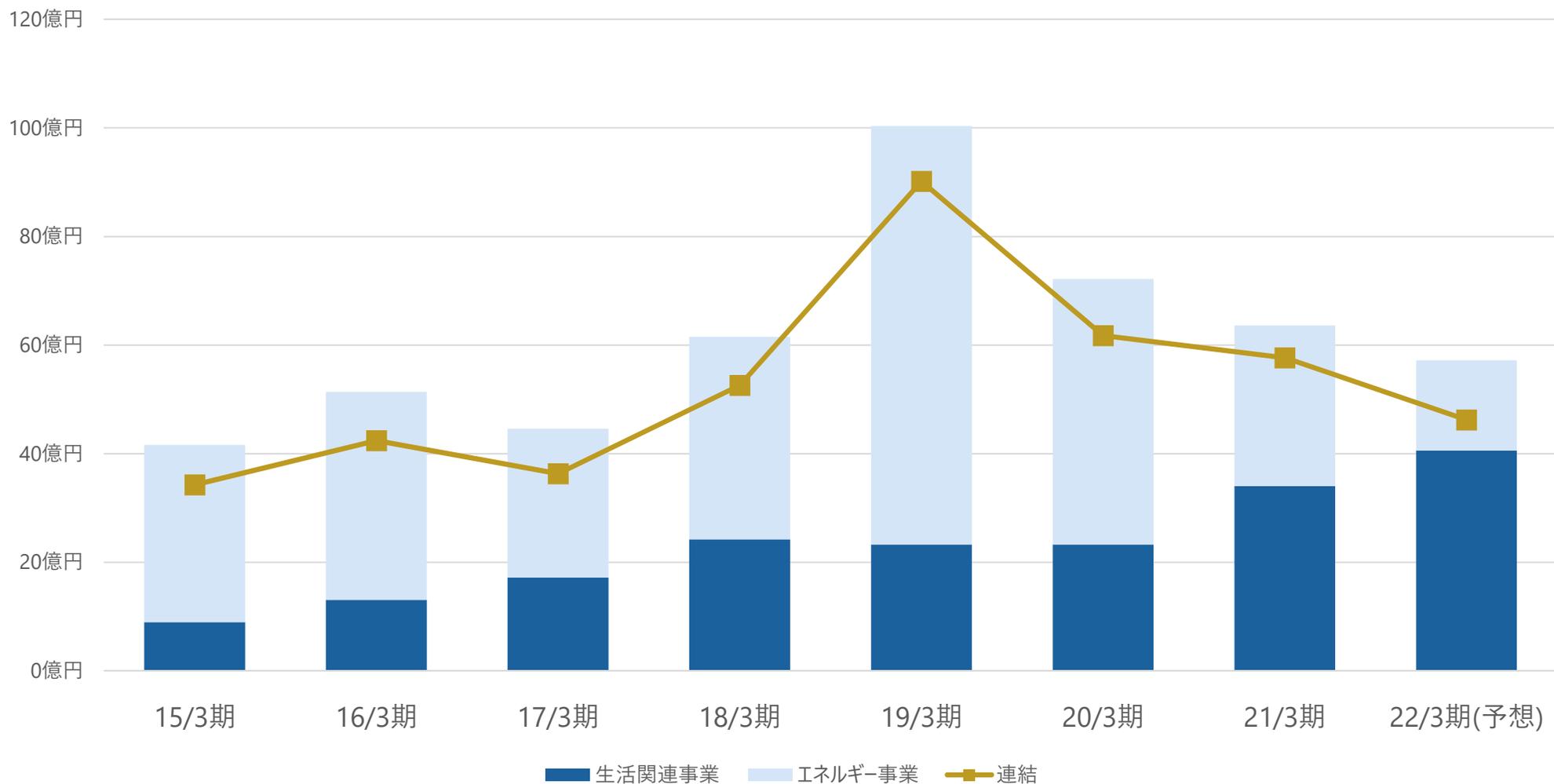
A\$/US\$ 1¢ 豪ドル安につき 約0.7億円 増益

※石炭価格が不変とした場合の為替感応度 (2021年5月12日時点)

EBITDAの推移

エネルギー事業・生活関連事業・連結のEBITDA推移

- 新規事業の育成・強化を積極的に推進してきた事により、生活関連事業のEBITDAは着実に増加
- 2021年3月期は石炭価格の下落によりエネルギー事業EBITDAが大きく減少し、生活関連事業が上回る



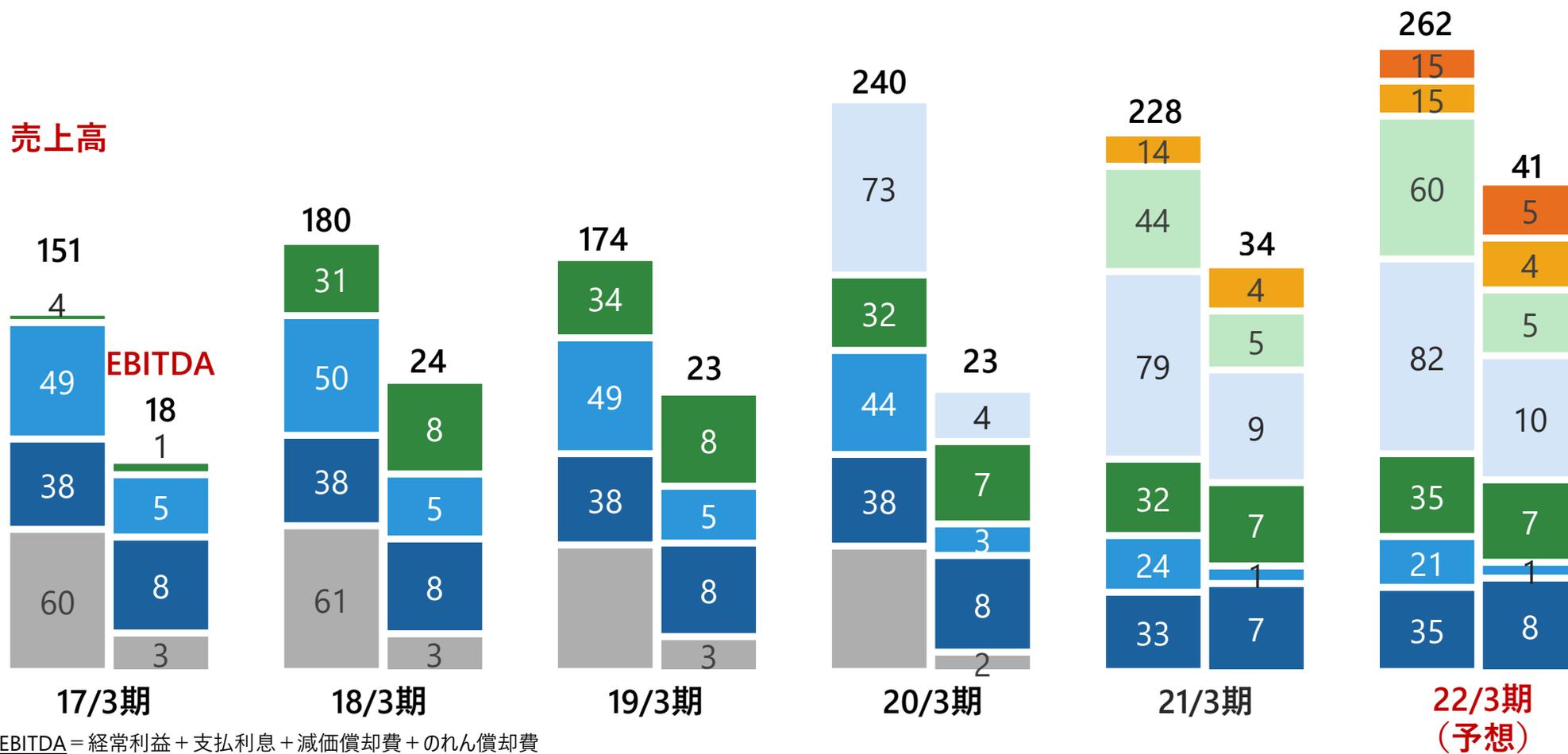
※EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

生活関連主要事業の売上・EBITDA推移

生活関連主要事業の売上・EBITDA推移



売上高



当社グループの事業紹介

生活関連事業について

主要な生活関連事業について

投資方針

安定収益

ニッチ市場

分かりやすい

主要事業

飲食用資材



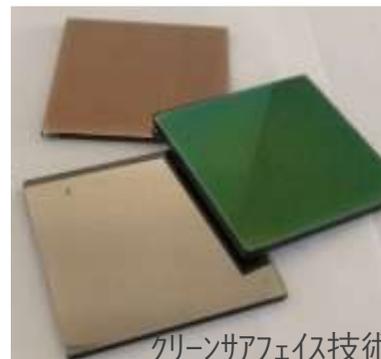
日本スロー

衣料品



花菱縫製

電子部品



クリーンサフェイス技術



三生電子

事務機器



明光商会

ペット



ケイムティ

住宅関連部材



システックキョーワ

飲食用資材分野



日本ストロー株式会社 (<http://www.nipponstraw.com/>)

概要・特徴

- 2014年2月株式取得
- 1983年伸縮ストロー開発。以来、業界の先駆者として独自の技術・ノウハウを蓄積し、ストローの国内リーディングカンパニーとしての地位を確立。**国内伸縮ストローの市場で圧倒的な市場シェア（約65%・当社調べ）**
- 優良顧客（大手乳業・飲料メーカー等）からの高い信頼と評価による安定的な取引基盤を構築し、堅調な業績を維持
- 様々な種類の高性能製品を製造、顧客の要望に応える

代表的な製品



伸縮ストロー



シングルストロー



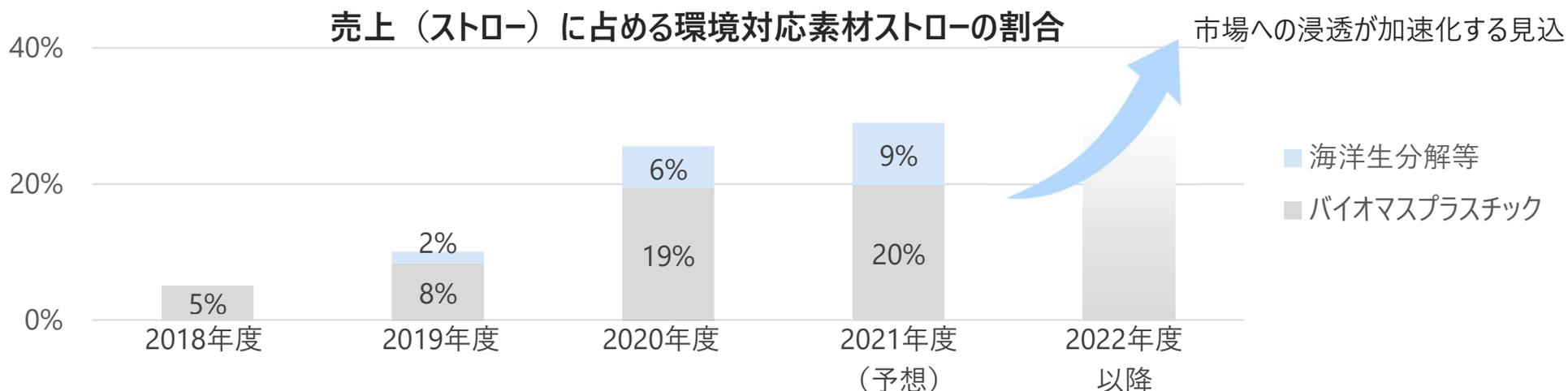
飲料用カップ

見通し・取組み

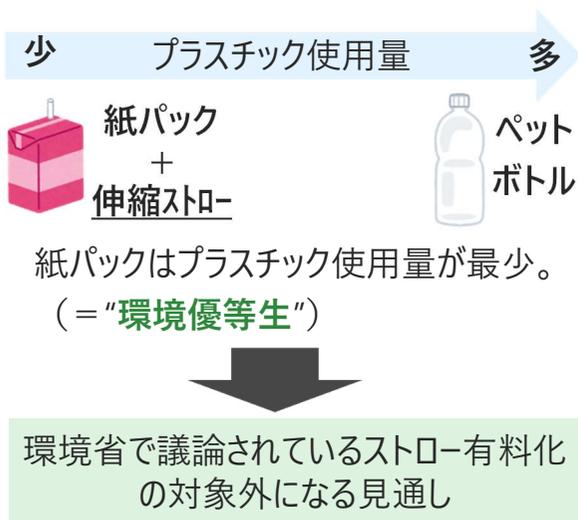
- 環境対応素材ストローなどの需要拡大及びデザイン性に優れたフードウェア商品（飲料用カップ、食品用容器等）の新規開発等により収益拡大を図る
- 消費者へ安心・安全・便利、高品質なストローを提供するために、人と環境にやさしい製品づくりに取り組んでいる

日本ストロー ～環境対応素材への取組み～

- 2021年度に**世界で初めて海洋生分解プラスチック伸縮ストローの商品化を予定**（2021年5月12日時点）
- 環境対応素材ストローの市場への浸透は過渡期
- 今後、既存のプラスチックストローから環境対応素材ストロー（バイオマスプラスチック、海洋生分解プラスチックが主流）への移行が加速化すると見られる



伸縮ストローの今後



主要な環境対応素材ストローの分類

	現在	2021年度以降
バイオマスプラスチック		
主な用途	伸縮ストロー	伸縮ストロー
販売先	大手乳業・飲料メーカー	大手乳業・飲料メーカー
✓ サトウキビなどが原料		
✓ カーボンニュートラル		
海洋生分解プラスチック		
主な用途	シングルストロー	シングルストロー + 伸縮ストロー
販売先	大手コンビニエンスストア	大手コンビニエンスストア + 大手乳業・飲料メーカー
✓ 植物油などが原料		
✓ 海中を含む様々な条件下で水とCO2に分解される		

衣料品分野



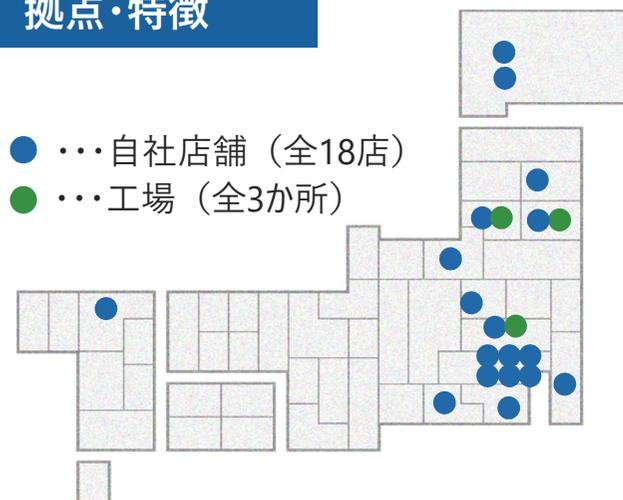
HANABISHI
THE TAILOR OF JAPAN SINCE 1935

花菱縫製株式会社 (<https://hanabishi-sewing.jp/corporate.html>)

概要・特徴

- 2015年10月株式取得
- 1935年創業。「オーダースーツ」の先駆者として、大手百貨店や消費者から高い評価を得ている
- “商品開発から生産・販売まで国内一貫体制”で差別化を図った自社店舗の展開

拠点・特徴



完全国内縫製



豊富な生地



取組み・見通し

市場環境

- 大手紳士服店をはじめオーダースーツの市場のプレーヤーが増加
- 新型コロナウイルスの影響で、在宅勤務の定着・脱スーツの流れが加速

2020年度取組み

- 2019年度比6割の市場規模でも黒字化できる体制へ転換
 - ✓ 工場数 : 5工場→2.5工場
(2工場を完全閉鎖、1工場の生産規模を大幅縮小)
 - ✓ 従業員数 : 700人→300人

2021年度以降の見通し

- 営業利益 : 2020年度 ▲3億円⇒2021年度 1億円
- 引き続きオーダースーツ市場は厳しい環境が継続
- オフィスウェアのカジュアル化に向けた対応を強化

電子部品分野



クリーンサアフェイス技術株式会社 (<http://www.cst-h.com/>)

概要・特徴

- 2017年2月株式取得
- 1977年に**国内初のマスク blanks 専門メーカー**として創業。
国内外の有力メーカーに販売しており、**優良な顧客基盤**を保有

マスク blanks の製造

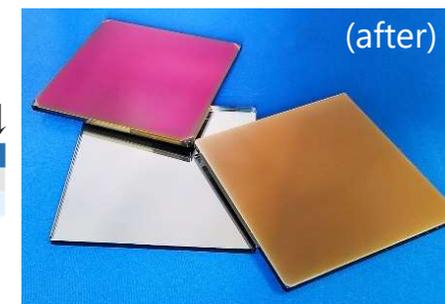
マスク blanks : 半導体等の回路パターンを描画するための素材で、版画の原版のような役割を担う



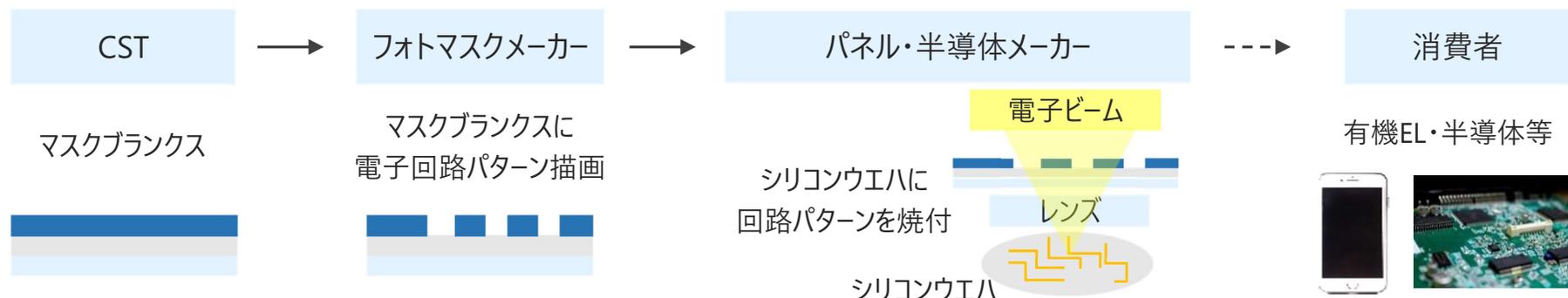
ガラス基板

ガラス基板にクロム等の
薄い金属膜を均一に塗布

↓感光材↓
↓クロム等金属膜↓



販売先・用途



見通し

- マスク blanks を材料とするフォトマスクは液晶・有機EL・半導体企業の**商品開発過程で多く消費されるため、最終商品の販売動向の影響は比較的受けにくい**。しかしながら、今後も5G関連の拡大等、更なる技術革新が見込まれる同市場の進展を受けてCSTの事業（マスク blanks 市場）も成長が期待される

電子部品分野

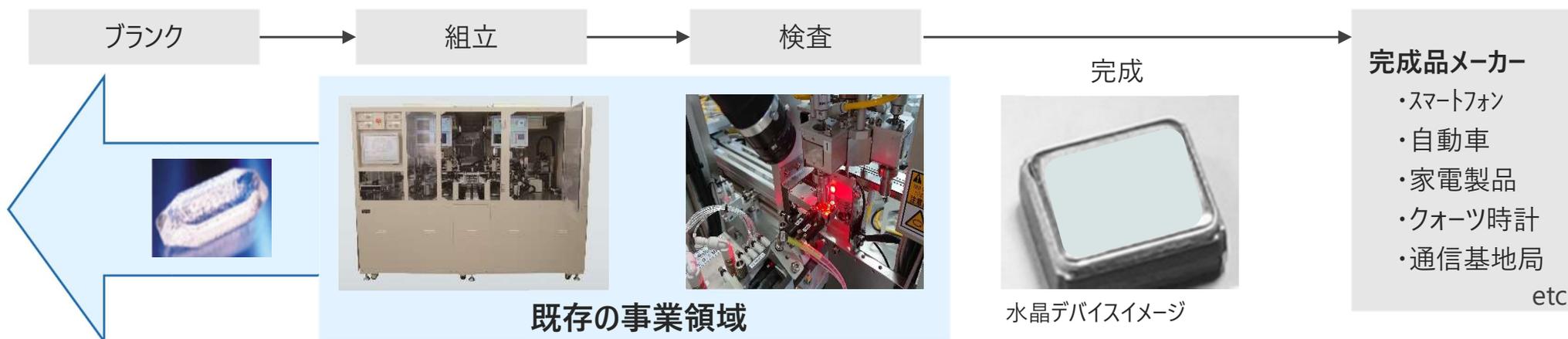


三生電子株式会社 (<http://www.sanseidenshi.co.jp/>)

概要・特徴

- 2020年4月株式取得
- 水晶デバイスの生産に必要な製造装置及び計測機器を製造・構築し、水晶デバイスメーカーに対し販売を行う
- 水晶デバイス製造工程のうち組立～検査まで幅広くカバーした**インラインシステムを構築可能な国内唯一の装置メーカー**
- 2021年度より**新たにブランク工程まで網羅したインラインシステム**を開発・販売開始。
これまで市場に存在しなかった専用装置の開発により、他社との一層の差別化を実現
- ①高い技術力 ②顧客との強固なリレーション ③価格競争力が強み

水晶デバイスの製造工程



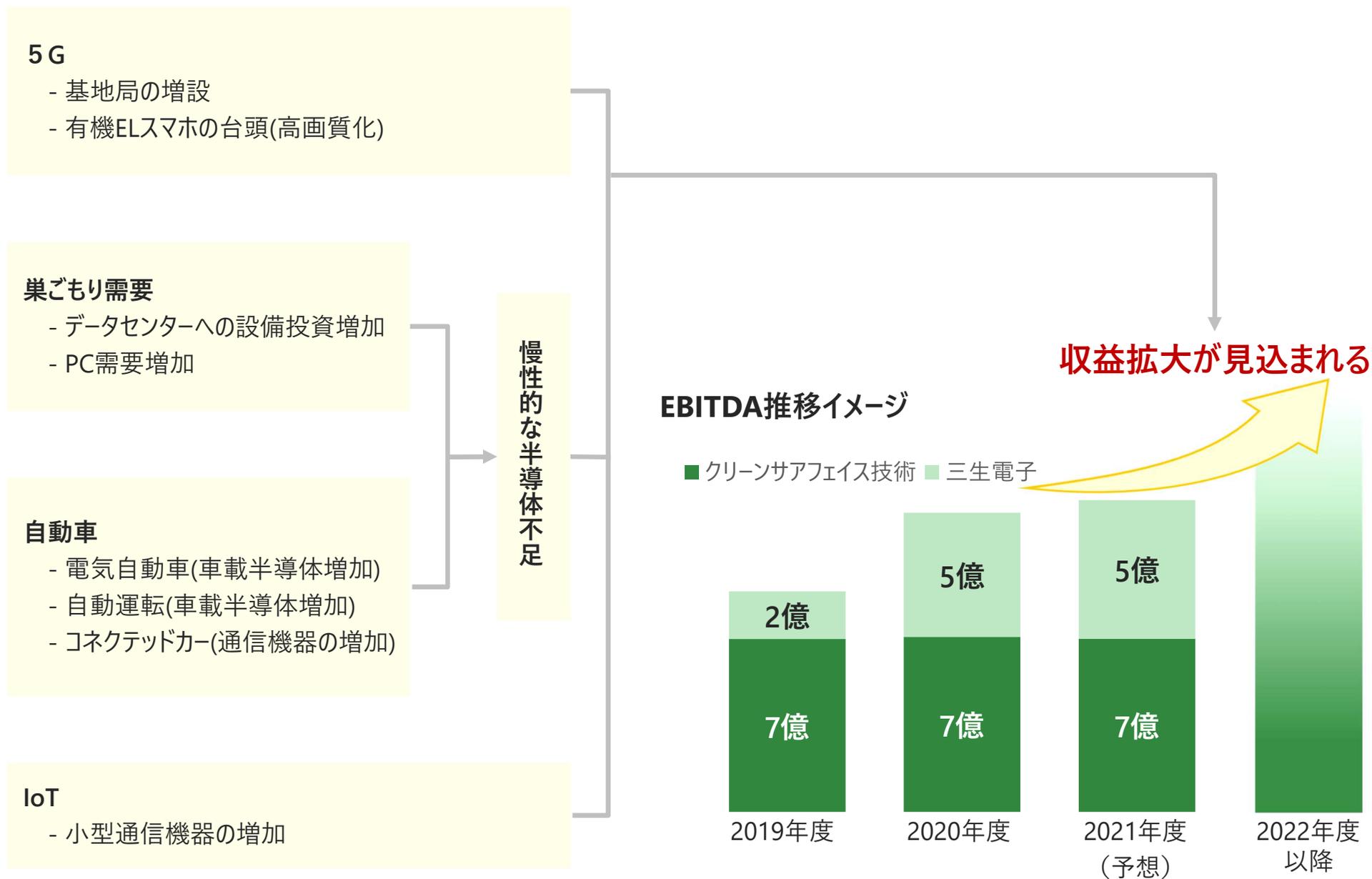
ブランク工程まで拡張することで更なる事業拡大が期待される

水晶デバイスとは？

水晶の（逆）圧電効果（物質に電圧をかけると高速かつ精確に振動する性質）を利用した電子部品。あらゆる電子機器に搭載され、特に無線接続機器（スマートフォンなど）には必要不可欠。自動車のエレクトロニクス化や通信インフラの5G対応など成長分野での用途拡大が見込まれている。

電子部品分野の成長性

- 安定推移を見込んでいた電子部品分野は、良好な市場環境を受け、順調に収益が拡大する見通し



事務機器分野



株式会社明光商会 (<https://www.meikoshokai.co.jp/>)

概要・特徴

- 2019年4月株式取得
- 1960年に日本で初めてシュレッダーの製造販売を開始。
独自の技術・ノウハウにより、国内リーディングカンパニーとしての地位を確立。
国内オフィス用シュレッダー市場で圧倒的な市場シェア（約75%・当社調べ）
- 2021年度中にタイの協力工場であるT SECURE INTERNATIONAL CO., LTD.を子会社化予定。
⇒企画から製造・販売まで貫徹するシュレッダー企業として、品質や価格競争力の向上を追求
- 幅広い顧客基盤・多様なニーズに対応できる**確かな製品力・高い再販率**により、**収益基盤は安定**

代表的な製品

MSシュレッダー

用途に応じた豊富なラインナップ

1. 小型～大型、特殊機
2. 最大細断枚数 20～100枚以上
3. 細断サイズ

粗い



細かい
(10mm²以下※)



※世界最小

受付自動案内システム

MSボイスコールNEO



販売・アフターサービス網

日本全国をカバーするネットワーク

- ...営業・サービス拠点



ペット分野



株式会社ケイエムテイ (<https://kmt-dogfood.com/>)

概要・特徴

- 2020年4月株式取得
- 予防医学に基づいた**高品質プレミアムペットフード**の企画・販売。
ヒューマングレードの原材料を使用し、添加物・着色料・副産物不使用などペットの健康に配慮した商品を展開
- **全国のペットブリーダーや動物病院からも高い支持**を得ており、高品質な健康プレミアムペットフード市場において強いブランド力と高いシェアを有している
- 今後ペットの“家族化”が一段と進展すると、同社製品に対する需要は増加する事が期待される

代表的な製品

ブリスミックス | Super premium dog food

BLISMIX®



口腔内環境からの健康維持に着眼
原材料にもこだわり、新鮮素材を使用

～特徴的な原材料一例～

◆ 口内環境の改善に役立つ

K12 (口腔内善玉菌)

◆ 腸内環境の改善に役立つ

EF2001乳酸菌

◆ 関節の健康維持に役立つ

グルコサミン・コンドロイチン

◆ 豊富なβ-グルカン

アガリクス茸

アガリクス I/S

AGARx™



豊富な栄養成分と免疫力・自己治癒力の向上をサポートする最高品質のフード



～特徴的な原材料一例～

EF2001乳酸菌

グルコサミン・コンドロイチン

アガリクス茸

住宅関連部材分野

SYSTECH KYOWA 株式会社システックキョーワ (<http://www.systechkyowa.co.jp/>)

概要・特徴

- 2021年2月株式取得
- 住宅関連部材（ドアストッパー、耐震ラッチ等）の企画・製造・販売。
企画から**金型、成形、組立までグループ内で一貫生産を行い、業界内で高いシェア**を誇る
- タイに自社工場を保有。
大手住宅・建材メーカーとの直販取引により強固な取引関係を構築しており、商品の共同開発や特許の共同出願も行う
- 新型コロナ感染症の影響により、足下では一時的に住宅着工に関する経済指標に落ち込みが見られるも、
今後は底堅く推移すると見込まれる

代表的な製品

ドアストッパー



耐震ラッチ



引手



キャスター



強み

コスト競争力

- 自社工場（タイ）
- 直販体制

高い技術力

- 高度な商品開発力
- 特許

取引先との強固な関係

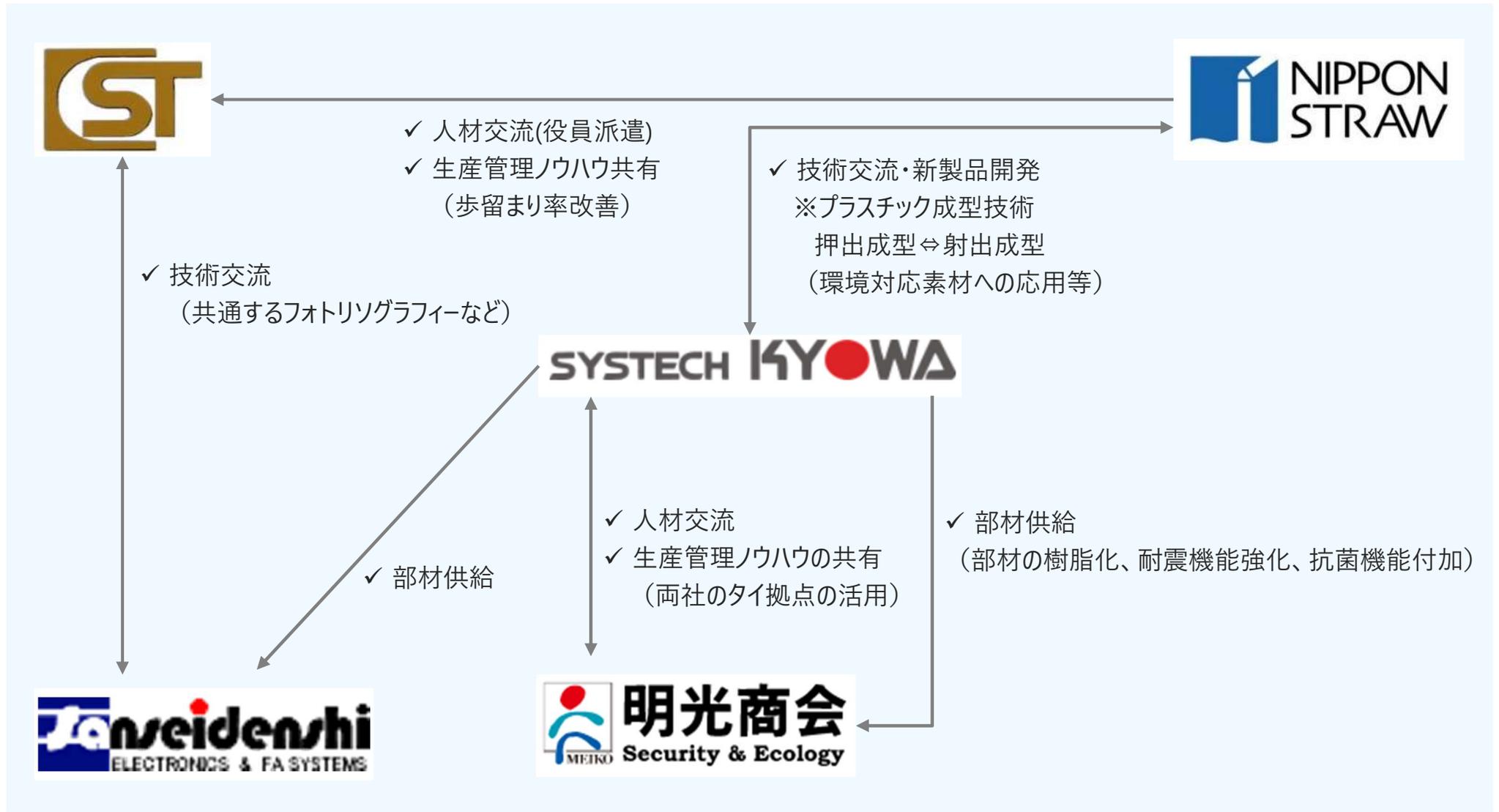
- 提案型営業
- 共同開発

拠点



グループシナジー

- 製造業で共通するノウハウ等を共有した結果、シナジーを創出



介護分野



MMライフサポート株式会社 (<http://pinegarden.jp/index.php>)

概要・特徴

- 2014年1月運営会社設立
- 都心に近い恵まれた立地（福岡市早良区）にて、介護と医療が連携した“安心して暮らせるサービス付き高齢者向け住宅”2棟（81室）を運営（パインガーデン藤崎 26室・パインガーデン室見 55室）
- 「**親を住ませたい。将来自分達も暮らしてみたい。**」を運営コンセプトに、ご利用者様に寄り添い、超高齢社会のニーズに合った介護事業（居宅介護支援・訪問介護・デイサービス）を展開

運営施設

パインガーデン 藤崎



パインガーデン 室見



運営コンセプト

- ご利用者様の介護度を下げる取組みを実施し、**明るく元気な生活を送れる施設づくり**に尽力
- 更なるサービスの向上を通じて**豊かな活気ある社会づくり**に積極的に取り組んでいく



エネルギー事業について

石炭生産分野～豪州リデル炭鉱について①～

豪州リデル炭鉱

概要・特徴

- 運営形態：三井松島オーストラリア社32.5%、Glencore社67.5%のジョイントベンチャー
- 高品質の一般炭及び原料炭（非微粘結炭）が生産されており（約9割が一般炭）、主に日本向けに出荷されている
- 埋蔵量：8.5億トン
（確定資源量2.1億トン、推定資源量2.4億トン、予想資源量4億トン）
可採埋蔵量 0.11億トン（現時点で、州政府から許認可を得ている採掘エリアの数量）
- 生産量：原炭 523万トン
製品炭 347万トン（2021年予想）

拠点

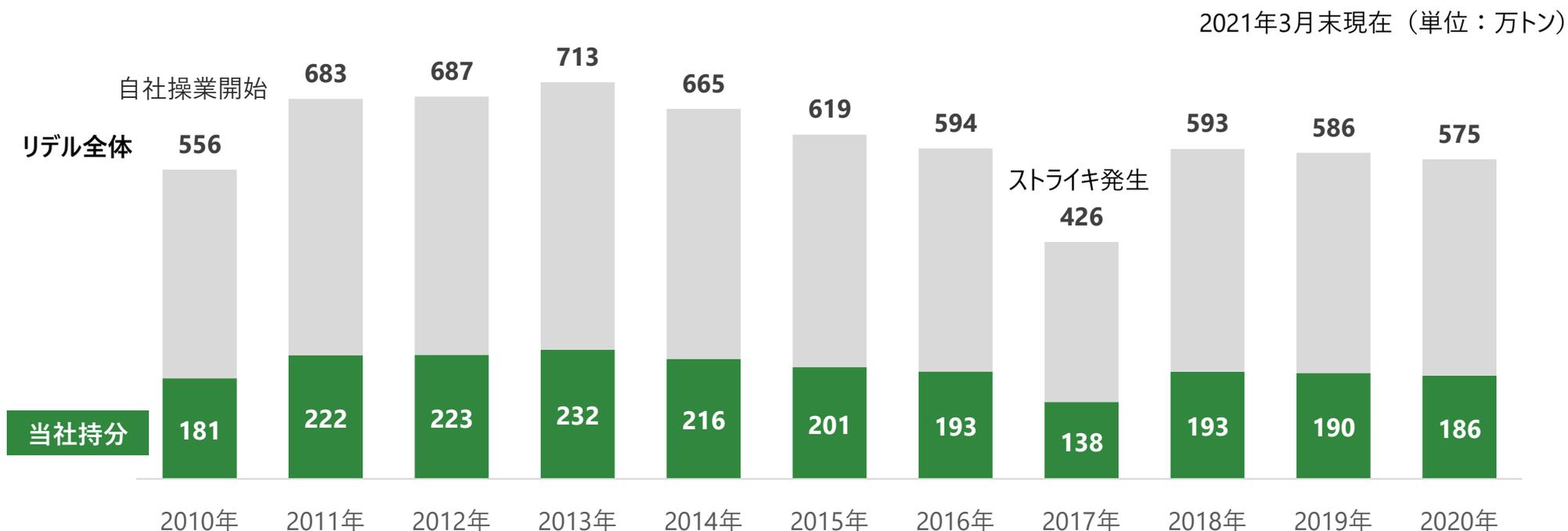


生産地



石炭生産分野～豪州リデル炭鉱について②～

リデル炭鉱生産（原炭）実績



- 現在、州政府から許認可を得ている採掘エリアは**2023年度中に終掘予定**。
また、終掘まで大きなコスト変動は想定していない
- 鉱区延長の準備（年内の許認可取得手続き等）は着実に進め、**権益価値の最大化を目指す**
- 但し、延長実施する場合は**2023年前後に100億円程度の先行投資が想定されるため**、取り巻く環境・採算性等を考慮し、**早期撤退も選択肢**として検討する

石炭販売分野・再生可能エネルギー分野

三井松島産業株式会社（石炭販売）

概要・特徴

- 2018年10月1日、持株会社への移行に伴い、石炭販売分野を新設分割
- 日本国内の電力会社、鉄鋼会社等へ石炭を販売
- 取扱数量に応じたコミッション（口銭）を収益としていることから、石炭価格の変動による利益への影響は限定的
- 2021年度より新たに適用される「収益認識に関する会計基準」により、売上高は大きく影響を受ける
※参考 2021年度売上高（予想） 従来 : 33,790百万円
新たな会計基準 : 230百万円

MMエネルギー株式会社（再生可能エネルギー）

概要・特徴

- 福岡県福津市内にある当社社有地を利用して**6MWの太陽光発電所**
「**メガソーラーつやざき発電所**」を運営
- 年間発電量は、一般家庭約2,000世帯分の年間消費電力に相当
- 九州電力の出力制御指示に基づく出力制限を2021年3月期は64回実施



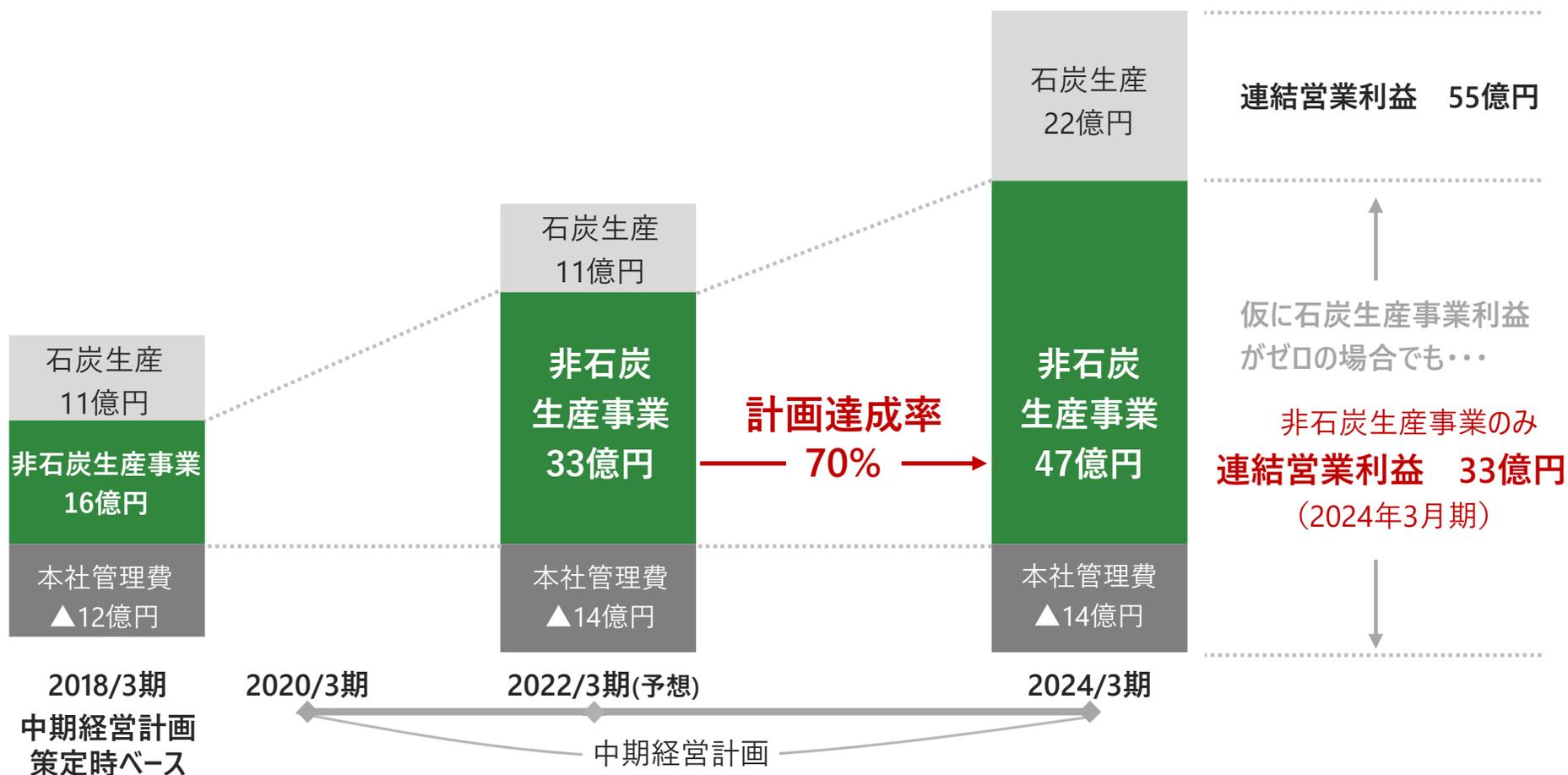
中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の進捗状況

計画概要

- 中期経営計画（非石炭生産事業利益47億円）の達成により、仮に石炭生産事業利益がゼロとなる場合でも、**十分な収益基盤により、安定配当を中心とした株主還元策を継続**

利益目標



※2022/3期の数値は現時点で想定され得る予想値です。

參考資料

サステナビリティ活動

サステナビリティ基本方針



三井松島グループは、「人と社会の役に立つ」の経営の基本理念のもと、ステークホルダーへの社会的責任を果たすとともに、持続可能な社会の実現の一助となるべく、事業活動を通じて社会的課題の解決に努めてまいります。

グループの具体的な活動につきましてはホームページをご覧ください。

(<https://www.mitsui-matsushima.co.jp/csr/index.html>)

取組事例

● 三井港倶楽部の運営



-明治41年の開館以降、三井財閥の社交場や迎賓館として活躍。福岡県大牟田市の指定有形文化財。

2017年6月に地元大牟田市の有志より承継。

-地域に愛されてきた歴史的遺産を守り伝えるという社会的意義のある事業であり、三井グループ全体の成長の礎である大牟田市や地域住民の皆様への恩返しに繋がる。

● 車いす利用者のためのオーダースーツ



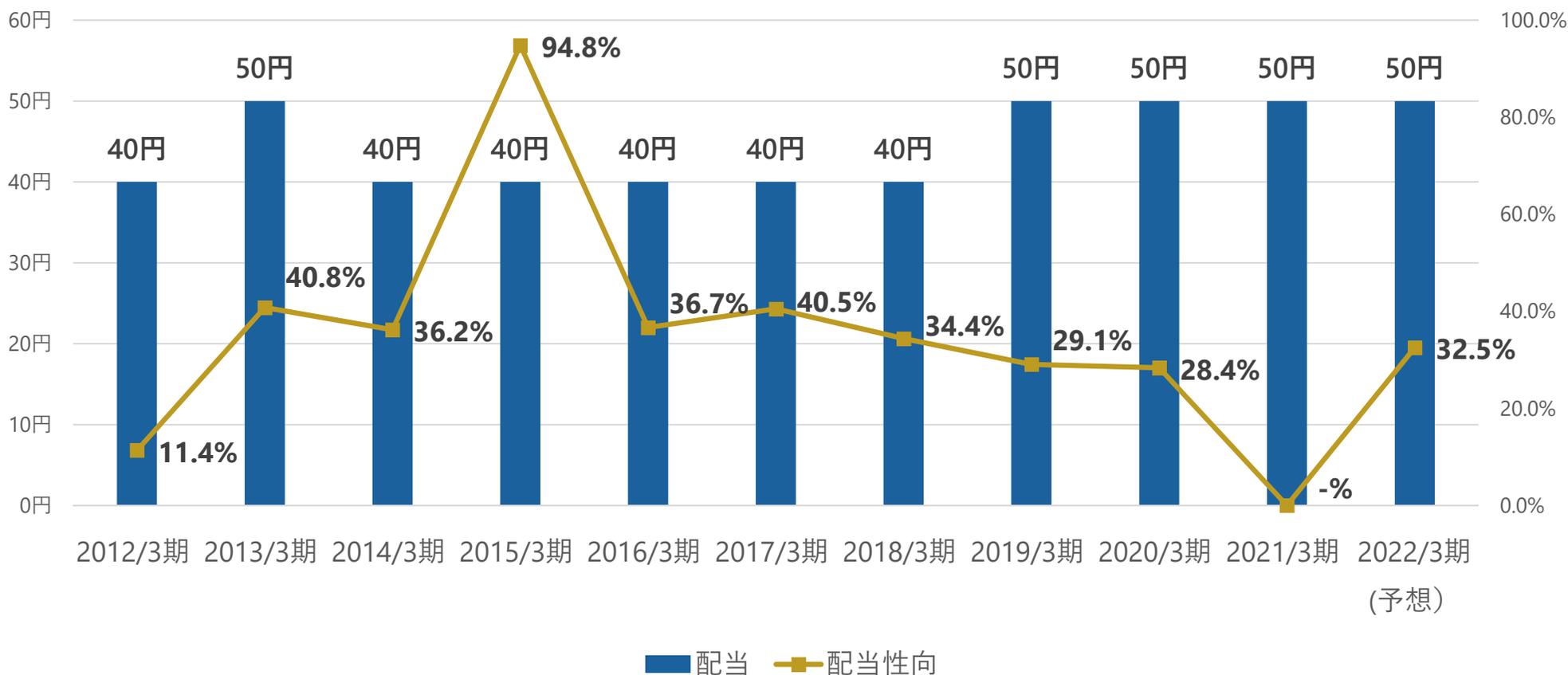
-座位姿勢を基準として設計した車椅子利用者のためのオーダースーツを独自に開発。

車椅子利用者のスーツ着用時に受ける様々な不満を解消。

配当方針と配当金の推移

配当状況・方針

- **2021年3月期の配当を50円、2022年3月期の配当予想を50円**といたしました。
- 当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績に応じた株主への利益還元を継続的に行うことを基本としております。
- 中期経営計画における配当性向目標（30%以上）を目安としますが、最終的には総合的な観点から決定致します。



※2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり配当額を算定しております。

株主優待制度について

株主優待

2021年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様に対し、以下の株主優待制度を実施致します。

花菱縫製（株） 商品ご優待券（10,000円）



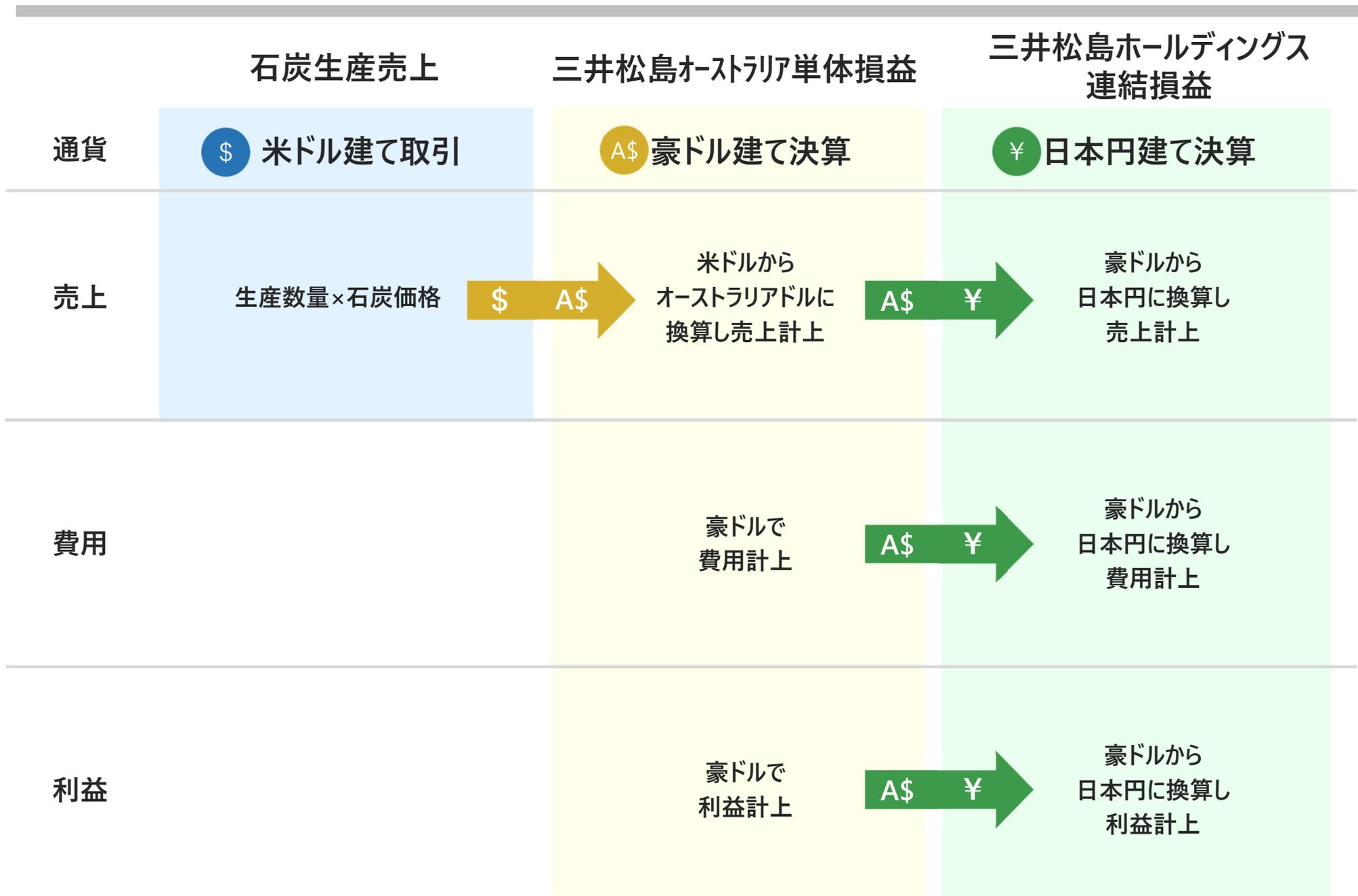
- **対象となる株主様**
所有株式数
-100株以上～1,000株未満 : 1枚
-1,000株以上～ : 2枚
- **対象商品**
-全ての商品（1度の来店につき2枚までの利用、ECサイト利用は不可）

施設優待割引券（3,000円）



- **対象となる株主様**
所有株式数
-100株以上～1,000株未満 : 2枚
-1,000株以上～3,000株未満 : 4枚
-3,000株以上 : 6枚
- **対象施設（全国 計17施設）**
 - （株）エムアンドエムサービスが運営する宿泊施設（計16施設）
 - <福岡県大牟田市> 三井港倶楽部（お食事のみ）

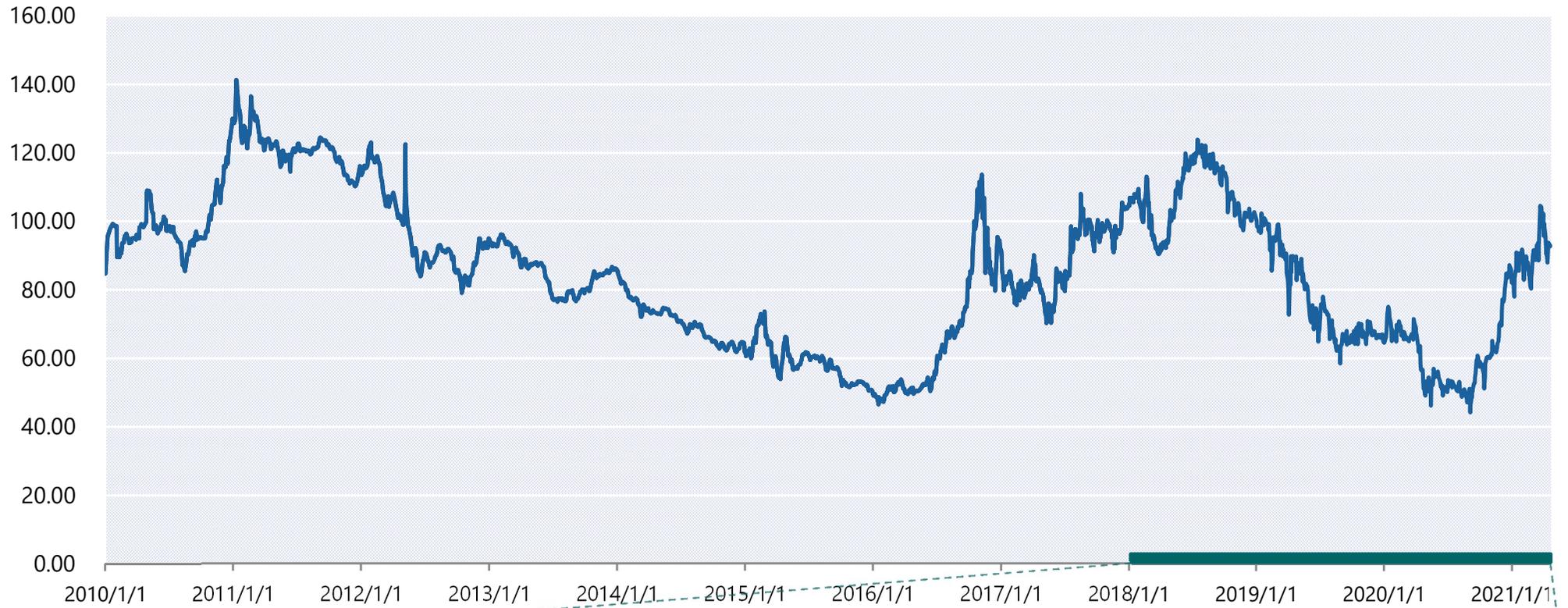
石炭生産分野における為替の影響



石炭マーケット状況

石炭マーケット情報

(US\$/Mt) 「global COAL」INDEX オーストラリア ニューキャッスル港積 標準品位一般炭指標の推移



		2018年				2019年				2020年				2021年	
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
原料炭	強粘結炭	237	197	188-189	212-213	210-211	207-208	177-178	141-142	147-148	136	110	116	122	未決定
	※ 非微粘結炭	150	132	129	135	132	129	115	107	100-104	95-104	82-86	87-91	91-92	未決定
一般炭	4月契約	84.97	110.00			94.75			68.75			未決定			
	10月契約	94.75		109.77			72.75			なし		未決定			
為替	US\$/A\$	US\$0.74				US\$0.69				US\$0.78				未定	
	円/A\$	82.6円				75.8円				85.0円				未定	

※ 2017年4月から原料炭価格はスポット連動方式へ移行

本資料の将来の業績に関わる記述等については、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、変化する可能性があることにご留意下さい。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。また本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

＜IR問い合わせ先＞ 総務部・経営企画部 TEL 092-771-2171